



学生と若手保育士の交流会



高校生保育魅力体験事業

待機児童解消に向け保育士確保のため

市は、昨年度から高校生に保育園などの職場体験の機会を提供し、保育の魅力を実感してもらう「高校生保育魅力体験事業」(下右の記事)を行っています。また、今年度からの新

たな取り組みとして、保育士養成校の学生が、複数の保育所などで就職体験を行うことができる「就職体験マッチング支援事業」も実施しています。

さらに、主に保育士養成校の学生を対象に、現在保育園などで勤務する若手保育士か

ら、就職活動や保育現場での体験談を聞いたり、仕事内容などに関して質問するなど、交流を通じて保育の仕事への理解を深めたうえで就職活動に臨めるよう、「学生と若手保育士の交流会」(下左の記事)を開催しています。園保育指導課(☎504-2154、☎504-2254)

仕事への不安を減らし、子どもと一緒に成長できる仕事の楽しさを伝えたい

— 学生と若手保育士の交流会 —

6月初旬、市の総合福祉センター(南区)で、保育士を目指す学生と保育士の交流会が行われました。

事前の募集に応募した市内の大学や専門学校に通う学生26人が参加。私立の保育所や認定こども園に勤務する保育士12人が、まずは自己紹介を兼ねて、勤務する園の種類や特長、仕事のやりがい、苦労話などを座談会形式で語り合いました(上写真)。定員19人の小規模施設に勤務する保育士は「一人一人に対応できるのがメリット。情緒の変化にも寄り添える」、1歳児担当の保育士は「赤ちゃんだったのが喃語(生後半年くらいから乳児が発する言葉)が出るようになったり、歩けるようになったり。成長を見守ることができるのがうれしい」などと紹介しました。少し緊張気味に聞き入っていた学生たちも、日頃から子どもと向き合う保育士たちの軽妙ながらも温かな語り口に、笑いを誘われつつ表情を緩めていきます。

その後、それぞれ5グループに分かれ、保育士がローテーションする形でさまざまな意見交換を行いました(右写真)。学生は、子どもとの接し方や保護者との関係、就職活動のコツなどについて質問。保育士は「遊びや音楽など、子どもを引き付けるための引き出しを増やすこと」「規模や方針の違ういろいろな施設で実習を体験し、自分に合う就職先を見つけて」などとアドバイスしていました。

南区の都市学園大学子ども教育学科4年の竹藤雅敏さんは「明日から最後の実習が始まるタイミングで、積極性を意識するようアドバイスをもらえました」と前向きな笑顔を見せます。学生たちの質問に丁寧に答えていた、認定こども園に勤務する保育士5年目の稲田さんは「学生さんたちには不安な要素が多いんだと感じたけれど、子どもと一緒に成長できる楽しさが伝えられたかな」と振り返っていました。

.....

終了後のアンケートで、学生からは、「現場の生の話が聞けたのは貴重」「今やっておくべきことが明確になった」「授業や実習では分からないことを知ることができた」などの声がありました。



竹藤さん

優しくするだけじゃなく、厳しくする時は厳しく、メリハリが必要な仕事なんですね

— 高校生保育魅力体験事業 —

「この歌知ってます。自分が子どもの頃も歌ってました」。2歳児の教室で流れ始めた手遊び歌「パンダうさぎコアラ」に、西区のノートルダム清心高等学校1年の小川美紀さんもリズムを合わせます。夏休み中の8月初旬、保育園ゆりかご(中区)で、同じく1年の後藤優和さんの二人が、2日間1日6時間程度、保育体験をしました。

昨年度から始まった「高校生保育魅力体験事業」。体験希望が22校248人だった昨年から、今年は倍以上の33校530人に上り、学生の保育の仕事への関心の高さがうかがえます。体験を受け入れてくれる施設も51園から99園となりました。

小川さんは、1年前にも別の機会でも保育を体験したことがあ



ります。「最初は人見知りをしていて子どもがだんだん笑顔でくっついてきてくれた」、そのうれしさが忘れられず、今回も応募。さらに、前回の体験から「絵本の読み聞かせで、保育士さんはどうやって子どもの気持ちを引き付けているか」という点に関心を持って臨みました。その読み聞かせの時間(上写真)。「保育士さんが一方的に読むじゃなくて、子どもと言葉の掛け合いを楽しむように読まれてましたね」と納得の笑顔を見せます。

3歳児の教室で、お絵描きやプール遊び(右写真)、給食の手伝いをした後藤さんは「保育士は子どもに優しくするというイメージだったけど、厳しくするところは厳しくといったメリハリが必要なんだと感じました」と感想を述べました。

.....

昨年度の終了後のアンケートでは、「しゃがんで目線を合わせると小さい子もよく話してくれることに気付いた」「お昼寝中に交代で食事をしたり作り物をしていて大変そうだったが、その充実感があった」「子どもたち一人一人の話を聞いたり、子ども同士のケンカをその子たちで解決させたりする姿を見て、こんな保育士になりたいと思った」などの声がありました。

人々の成長や人生に寄り添い支える大切な仕事です

特集／保育・介護職の魅力とやりがい

介護への理解を深め、介護が必要な人が安心して暮らしていくため

市は、今年度から、介護サービス事業所の協力を得て、高校生や大学生などの若い世代に介護職の魅力を実感してもらう「高校生・大学生介護体験事業」(すぐ下の記事)を行っています。

また、日常生活や職場の中で、介護が必要な人のサポートができる人を養成するため、企業や学校、地域に介護サービス事業所の職員などを派遣し、介護に関する基礎的な知識と介助技術を学ぶ「介護サポーター養成講座」(下記記事)を開始します。園介護保険課(☎504-2173、☎504-2136)

一人一人に明るく親身になって接する、こんな仕事をしてみたい

— 高校生・大学生介護体験事業 —

「この夏、かけがえのない体験を！」と呼び掛けて募集した「高校生・大学生介護体験事業」に、8校38人の学生が応募。それぞれが、夏休み中の2日間、受け入れに協力した13施設で、1日6時間程度の体験を行いました。

特別養護老人ホームおりーぶえん(中区)に併設のデイサービスでは、この日、民謡「ドンパン節」の威勢のいい曲に合わせ、職員を手本に元気に踊る三人の姿がありました。美鈴が丘高校(佐伯区)2年生の直木由美さん、越智遥さん、原田朋佳さんです。利用者さんたちが温かなまなざしを向け一緒にリズムをとります。

直木さんは「自分にもデイサービスに通うおばあちゃんがあります。人と接するのが好きで体験に応募しました。最初は少し緊張したけれど、おばあちゃんたちから昔の話を聞いたりしているうちにだんだん打ち解けてきました」と介護の仕事に関心を寄せます。越智さんは、幼い頃、けがのリハビリで作業療法士にお世話になったそうです。「親身に関わってくれたあの作業療法士のお姉さんのようになりたい。将来は子どもや高齢者などいろいろな人を助けられる仕事をしたいです」と進路を思い描きます。



越智さん

ひろしま介護サポーター養成講座 が始まります

身近な介護に生かせる基礎的な知識と技術を学ぶ講座を実施します

ひろしま介護マイスター*や介護福祉士などの資格を持つ介護サービス施設・事業所の職員などを講師に、介護が必要な人の特性を理解し、基礎的な知識と技術を学ぶ講座を実施します。講座を修了した人には、修了証を交付します。【受講対象者】市内在住の人、市内の事業所や学校に勤務・通学する

■保育・介護人材の確保・育成に向けたその他の取り組み

・ひろしま保育・介護人材サポート事業
【**保育人材の確保**】
・保育士合同就職説明会
【**労働環境の改善**】
・保育補助者の雇用強化事業
・産休などの代替職員配置の補助
【**賃金水準などの向上**】
・保育士処遇改善事業
【**保育の質の向上・育成**】

・私立保育園等職員研修
【**介護人材の確保**】
・福祉の就職総合フェア
・介護のお仕事魅力発信イベント
・生活援助員確保促進事業
【**育成・定着促進**】
・広島市介護マイスター養成支援事業
・小規模事業所介護人材育成支援事業



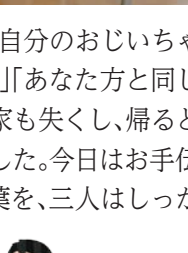
高校生・大学生介護体験事業

レクリエーションのかき氷づくり(右中央写真)で、積極的に手伝いをした原田さんは「職員さんは、体が不自由な人、聞こえにくい人など、一人一人に丁寧に接していました」と印象を語りました。

『一介護一手洗い』。これは、三人がこの日、職員

さんから学んだ大切な言葉です。手洗いは全ての感染症対策の基本であり、一つの介護をした後には手洗いをするのが原則とのこと。「その手洗いの前に、まず、介護中着けていた手袋の外し方がポイントなんです」と越智さん。「使用した外側に最後まで手指が触れないように外して、内側が外側になるよう丸めて1回ごとに捨てるんです」。直木さんが分かりやすく丁寧に実演してくれました(右写真)。

最後に、体験を終えた三人に対して、利用者さんたちから感想とお礼の言葉が掛けられました。「昔話をよく聞いてくれてありがとう。ご自分のおじいちゃん、おばあちゃんがおられたら優しくしてあげてね」「あなた方と同じくらいの時、原爆で一人ぼっちになったの。両親も家も失くし、帰るところがなかった。皆さんのおかげでここまでできました。今日はお手伝いをしてくれてありがとう」。穏やかに語られる言葉を、三人はしっかりと胸に刻んでいました。



原田さん



人。原則5人以上のグループ単位で申し込み ● 高校生相当年齢以上の人を対象とする内容です ● 高齢者いきいき活動ポイント事業の対象です

【講座時間】1回当たり6時間

【受講費用】市民グループや町内会などの地域団体、学校による受講の場合は無料。事業所による受講の場合は1回当たり2万円

【受講会場】原則、受講者が用意した会場に講師を派遣

【申込方法】ファクスで、市老人福祉施設連盟(☎207-0567、☎207-0576)へ 園同連盟

※特定の資格を取得し、介護技術・知識に優れ、職場内でリーダーシップを発揮する極めて優秀で信頼のおける介護職員として市が認定している人

ご参加を

■介護・看護・保育の総合就職フェア

盛りだくさんの内容です。お気軽にご参加を！

☎【介護・看護】約20の事業所による求人内容の説明・面接会／訪問介護就職セミナー／看護師就職セミナー／VR(バーチャルリアリティ)による認知症体験

【保育】資格取得ガイダンス／ブランクのある人・未経験者向けセミナー／保育士なんでも相談会／保育のお仕事座談会

☎10月24日(休)午後1時～4時
園市総合福祉センター(南区松原町5-1 BIG FRONTひろしま5階)
園ハローワーク広島東(☎262-8300、☎567-9680)

